

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時25分07秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00258	青少年問題協議会事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	60	青少年を育てる家庭・地域づくり		
予算事業				
所属長	前田 隆男	担当者 (内線)	土井 (IP748-1352)	
根拠法令等	地方青少年問題協議会法、執行機関の附属機関に関する条例、青少年問題協議会規則			
事業開始年度	昭和48年度	直近の改正	平成29年度	
改正内容	会長及び委員の定数等見直しを行う。			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部 (上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="radio"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市民及び関係機関		
目標	青少年に関する問題の取組み及び諸施策の総合調整		
結果	青少年を育てる家庭・地域づくりのために青少年に関する諸施策の総合的な企画及び推進		
事業概要	青少年問題の総合的施策の樹立についての調査審議及びその施策を実施するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	223	0	223	42	101
人件費職員数(人)	0.30	0.00	0.30	0.30	0.00
人件費単価	8,170	8,170	8,052	8,052	0
人件費総額(B)	2,451	0	2,416	2,416	0
総事業費(A+B)	2,674	0	2,639	2,458	101
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,674	0	2,639	2,458	101
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,674	0	2,639	2,458	101
財源計(G+D)	2,674	0	2,639	2,458	101

所属	青少年室
事務事業番号	00258

2頁
平成30年 6月 8日
11時25分07秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	協議会開催回数	回	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	0.00	1.00	
			達成度(%)	0.00	50.00	
目標値の積算方法	過去の実績に基づく	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	2,458.00	
			一般財源(千円)	0.00	2,458.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
協議会を開催し、青少年問題について調査審議することにより、本市の事業に生かした。	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：平成29年(2017年)4月7日付で改正された「吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針」に沿った運営を行うとともに、設置の趣旨や目的に照らして、効率的な運営の確保が図れるよう委員の構成や定数等の見直しを行ったことで、より議論しやすい体制が構築できたため妥当と考える。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の評価を踏まえると、他機関との関係を整理するために規則を改正し、協議会の構成団体及び定数を刷新したうえで実施したため事業費は妥当である。 今後は実施方法の検討や更なる事務改善(テーマの設定等)を行いつつ継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	青少年問題協議会事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00258				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	10	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 o. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	72	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	青少年室	事務事業番号	00258
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 最近の青少年の現状は、以前の暴走族、シンナー、喫煙などといった形態の非行から、スマートフォン、インターネットの普及による青少年を取り巻く社会環境の変化への対応や引きこもり、ニートなどの課題を抱える青少年への支援へと移り変わりつつある。そのため、青少年への関わりが深くより身近な存在である関係団体等で再構築することにより、生の意見やニーズが汲み上げやすくなった。</p> <p>(2)有効性 引きこもりや非行などの課題を抱える青少年支援のため、子ども若者育成支援推進法に基づく「吹田市子ども・若者支援地域協議会」を平成28年度に設置するとともに、平成29年度に規則改正を行い関係団体等との関係を整理した。今後は協議会のあり方を検討する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年4月に、地方青少年問題協議会法が改正され、地方青少年問題協議会の会長及び委員の要件を定める規定を廃止、本市においても会長の委嘱の基準を定める所要の改正を行っている。

北摂7市のうち、3市は青少年問題協議会を設置しておらず、他の協議会等で代替している。

平成28年度から、担当所管を児童部子育て支援課から地域教育部青少年室へ変更した。(補助執行)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時27分08秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00982	青少年指導員活動事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	50	青少年の仲間づくり							
予算事業	10926	01	10	05	02	02	01	01	青少年指導員活動事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男				担当者（内線）	釜江 和宏（748-1308）			
根拠法令等	吹田市青少年指導員委嘱要領								
事業開始年度	昭和48年度	直近の改正	平成17年度						
改正内容	委嘱要領の名称を要領に改正								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	青少年		
目標	青少年指導員による青少年の健全育成・非行防止		
結果	青少年の健やかな育成		
事業概要	青少年の健全育成を推進するため、各地区青少年対策委員会長の推薦を受け、青少年指導員を委嘱（2年任期）。行政と地域のパイプ役、また、地域の青少年対策委員会においては、地域のコーディネーターとして青少年の健全育成と非行防止を図る。具体的な活動内容は、広報・啓発活動、研修の実施、教育委員会からの委託事業（野外コンサート、ヤングフェスティバル、）の受託、環境調整活動等。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	11,071	10,418	11,482	10,171	11,482
人件費職員数(人)	0.60	0.90	0.80	0.80	0.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	7,110	6,442	6,442	5,562
総事業費(A+B)	15,973	17,528	17,924	16,613	17,044
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	15,973	17,528	17,924	16,613	17,044
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	15,973	17,528	17,924	16,613	17,044
財源計(C+D)	15,973	17,528	17,924	16,613	17,044

所属	青少年室
事務事業番号	00982

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	青少年指導員の委嘱人数	人	目標値	185.00	184.00	184.00
			実績値	172.00	167.00	
			達成度(%)	93.00	90.80	
目標値の積算方法	36小学校区×5名+役員4名	単位当たりコスト	総事業費(千円)	101.91	99.48	
			一般財源(千円)	101.91	99.48	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	委嘱地区数	地区	目標値	36.00	36.00	36.00
			実績値	35.00	35.00	
			達成度(%)	97.20	97.20	
目標値の積算方法	全小学校区(36小学校区)での委嘱	単位当たりコスト	総事業費(千円)	500.80	474.66	
			一般財源(千円)	500.80	474.66	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 会議等の交通費や指導員で構成する青少年指導員会では会費をもって活動の運営費に充てるなど、ボランティアとしての活動も多く事業費は適切であると考え。</p> <p>【指標数値の評価】 各小学校区5名の指導員を配置することにより、地域に根付いた活動や地域との架け橋となって、青少年の健全育成・非行防止活動に取り組んでいることなどから事業成果は大きい。</p> <p>【今後の方向性】 平成27年度に開校した千里丘北小学校には、まだ青少年指導員の委嘱がないため、地域と連携して、委嘱を目指していく。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	青少年指導員活動事業	事業区分	その他
事務事業番号	00982				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	青少年室	事務事業番号	00982
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

青少年指導員は地区によって、その活動日数は異なるものの、働く現役世代の方が委嘱を受けており、それらの活動は平日の夜の会議、休日の事業開催が主な活動日となっている。市内の全青少年指導員が吹田市青少年指導員会として、月1回、定期的な会合を開催しているが、これらの定例的な会議のほか、拘束時間の長い地域行事(カーニバル、地域の祭り、講演会、ハイキングなど)の準備や運営に携わることも多く、地域の体育祭など他団体の行事スタッフとしても活動している。また、地域内の危険箇所の点検、パトロールなど自立的・独立的な活動を行っており、通勤時などに青少年がたむろしていれば、声かけ活動を行うなど、日常的に活動する場面があり、これらの活動はすべて把握しきれていない。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)持続可能性 青少年指導員は、地域の青少年に関する各種団体と連携を図りながら、それぞれの地域で青少年の健全育成・非行防止活動の中心的役割を担っている。また、地域と行政のパイプ役としての役割も担っており、長年の地道な活動により地域での信頼も厚く、今後も継続していきべき事業と考える。</p> <p>(2)公平性 各小学校区に5名の青少年指導員を委嘱することで、各地域での活動差をなくし、公平に活動できていると考える。平成27年度に開校した千里丘北小学校には、まだ青少年指導員の委嘱がないため、地域と連携して、委嘱を目指していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時27分56秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00983	吹田市成人祭事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	50	青少年の仲間づくり		
予算事業	10927	01	10	05 02 02 01 02 吹田市成人祭事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男		担当者（内線）釜江 和宏（IP748-1308）	
根拠法令等	国民の祝日に関する法律（昭和23年）、文部次官通達（昭和31年）			
事業開始年度	昭和23年	直近の改正	平成12年	
改正内容	主催を教育委員会単独から市との共催とした。また、従来2回に分けて開催していた式典を1回とし、新成人スタッフ等による「二十歳のつどい」を実施することとした。			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市在住の新成人		
目標	大人としての自覚と責任ある行動が期待される青年を祝い励ますことによって、青少年の健やかな育成を図る。		
結果	国民としての権利と義務を負う社会人の醸成。		
事業概要	新成人を対象にして、毎年国民の祝日である「成人の日」に吹田市文化会館において、「式典」及び催しコーナーなどを含む「二十歳のつどい」を開催する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田市成人祭実行委員会
		委託先②	民間警備会社
		委託先③	
	主な委託内容		「二十歳のつどい」運営業務
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,964	1,002	1,573	2,058	1,460
人件費職員数(人)	0.60	0.80	0.80	0.80	0.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	6,320	6,442	6,442	5,562
総事業費(A+B)	7,866	7,322	8,015	8,500	7,022
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	7,866	7,322	8,015	8,500	7,022
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,866	7,322	8,015	8,500	7,022
財源計(C+D)	7,866	7,322	8,015	8,500	7,022

所属	青少年室
事務事業番号	00983

2頁
平成30年 6月 8日
11時27分56秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人祭参加者数	人	目標値	2,900.00	3,000.00	3,000.00
			実績値	2,000.00	2,000.00	
			達成度(%)	69.00	66.70	
目標値の積算方法	対象者の80パーセント	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.66	4.25	
			一般財源(千円)	3.66	4.25	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	成人祭実行委員会協力団体	団体	目標値	7.00	8.00	8.00
			実績値	7.00	8.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	過去の協力団体の実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,046.00	1,062.50	
			一般財源(千円)	1,046.00	1,062.50	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 29年度はメイシアターの改修工事に伴い開催会場を千里金蘭大学に変更した関係で、最寄駅から会場までのバスのチャーター代や警備員の大幅な増加に伴い事業費が前年度より増大したが、結果的に大きなトラブル等もなく終わることができ、事業費の支出は適切と考える。</p> <p>【指標数値の評価】 新成人で構成される実行委員の参画により、手作りイベント「二十歳のつどい」を開催して、毎年趣向を凝らした催しコーナーを企画しており、事業の成果は大きい。</p> <p>【今後の方向性】 成人祭実行委員の意見をもっと取り入れられるよう事前の打ち合わせを行うことも必要。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	吹田市成人祭事業	事業区分	その他
事務事業番号	00983				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(6点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	86	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)持続可能性 毎年、成人祭終了後すぐに、翌年度の成人祭開催に関する問い合わせが多く、特に進学・就労などで吹田を離れている新成人にとっては、久々の友人との再会を楽しみにしており、思い入れが強いものであると考え。</p> <p>(2)有効性 新成人にとって一生に一度の成人祭であり、新成人実行委員とともに取り組んで行う事業の必要性は大きい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1 頁
平成30年 6月 8日
11時26分14秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00984	吹田市子ども会スポーツ大会事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	50	青少年の仲間づくり							
予算事業	10929	01	10	05	02	02	01	03	吹田市子ども会スポーツ大会事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男				担当者（内線）梶原（IP748-1353）				
根拠法令等	吹田市子ども会スポーツ大会実施要領								
事業開始年度	昭和44年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	青少年		
目標	子ども会のスポーツ活動の推進による青少年の健全育成		
結果	青少年の体力、協調性の向上		
事業概要	市内の子ども会加入の小学生を対象としたスポーツ大会を開催している。 競技種目はソフトボール（男子チーム又は男女混成チーム）、キックベースボール（女子チーム）を開催している。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	吹田市子ども会育成協議会
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	事業の実施
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	297	297	297	297	297
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,416	1,589
総事業費(A+B)	2,748	2,667	2,713	2,713	1,886
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,748	2,667	2,713	2,713	1,886
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,748	2,667	2,713	2,713	1,886
財源計(C+D)	2,748	2,667	2,713	2,713	1,886

所属	青少年室
事務事業番号	00984

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開催日数	日	目標値	3.00	3.00	3.00
			実績値	3.00	3.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	1日目：開会式・抽選会 2日目：予選 3日目：準々決勝～決勝	単位当たりコスト	総事業費(千円)	889.00	904.33	
			一般財源(千円)	889.00	904.33	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	出場チーム数	チーム	目標値	23.00	21.00	20.00
			実績値	18.00	16.00	
			達成度(%)	78.30	76.20	
目標値の積算方法	過去5年間の平均出場チーム数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	148.17	169.56	
			一般財源(千円)	148.17	169.56	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	ソフトボールやキックベースボールを通じて、地区を超えた子供たちの交流を図った。	達成状況	年々出場チームが減少しており、限られたチームでの交流になっている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事務事業の評価】 ボール等消耗品が多く必要になることやトロフィー・楯を購入する必要があることから、適切であると考え。</p> <p>【指標数値の評価】 出場チーム数に注目すると、目標を達成できないだけでなく、年々チーム数が減少している。現状、出場資格として同一中学校区であることが挙げられているが、交流を目的として開催するならば、条件の緩和が必要である。</p> <p>【今後の方向性】 出場チーム数は減少しているものの、一定数は出場することから、大会のニーズは存在するため、継続すべきと考える。今後は、出場資格や委託先について、本事業に関係する団体と協議が必要である。</p>		

事務事業分析シート

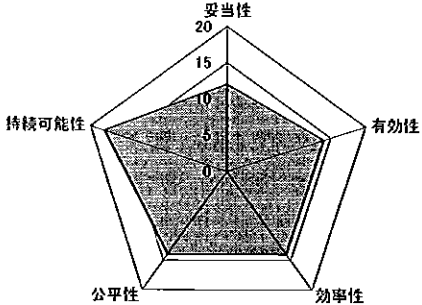
所属名	青少年室	事業名	吹田市こども会スポーツ大会	事業区分	その他
事務事業番号	00984				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 ソフトボール、キックベースボールともにチーム数は年々減少している。しかし、一定数のチームは出場している点、子供たちが楽しみにしているという声を聞く点から、本事業の実施意義はあるものと考えられる。</p> <p>(3)公平性 現状、出場資格として同一中学校区であることが挙げられているが、この条件により出場できないチームが出てきている。子供たちの交流を目的とするならば、条件を緩和し、より多くのチームに出場機会を設け、公平性を保つべきであるとする。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時28分39秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00985	吹田青少年野外コンサート事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	50	青少年の仲間づくり							
予算事業	10930	01	10	05	02	02	01	04	吹田青少年野外コンサート事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男			担当者（内線）前田 健介（748-1354）					
根拠法令等	吹田野外コンサート実施要項								
事業開始年度	昭和58年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	20歳以下で吹田市内在住・在学・在勤の青少年を含む、全員が25歳以下（中学生以上）の団体		
目標	日頃の音楽活動を野外で発表する機会を提供し、参加者が他の参加グループ・観客・青少年指導員と交流する。		
結果	青少年の健全育成		
事業概要	中学生・高校生の吹奏楽部やコーラス部等による野外での演奏		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先① 吹田市青少年指導員会	
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	事業の実施
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	470	428	470	470	470
人件費職員数(人)	0.30	0.40	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	3,160	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	2,921	3,588	2,886	2,886	2,854
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,921	3,588	2,886	2,886	2,854
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,921	3,588	2,886	2,886	2,854
財源計(C+D)	2,921	3,588	2,886	2,886	2,854

所属	青少年室
事務事業番号	00985

2頁
平成30年 6月 8日
11時28分39秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	参加団体数	団体	目標値	18.00	18.00	18.00
			実績値	0.00	20.00	
			達成度(%)	0.00	111.10	
目標値の積算方法	市内公立中学校(18校)・高校(5校)の約8割	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	144.30	
			一般財源(千円)	0.00	144.30	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	参加人数	人	目標値	3,000.00	3,000.00	3,000.00
			実績値	0.00	3,000.00	
			達成度(%)	0.00	100.00	
目標値の積算方法	実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.96	
			一般財源(千円)	0.00	0.96	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業については、吹田市青少年指導員会に事業の実施について委託している。例年100名以上が動員され、各必要物品の準備や出演団体の誘導等、スムーズに運営されており、事業費は適切であると考え。</p> <p>【指標数値の評価】 開催時期が6月ということもあり、この青少年野外コンサートを新入生の初舞台と位置付けている学校も多く、日々の練習を披露する場であることはもちろんの事、他団体の参加者と交流したり、司会も青少年が担当するなど、多角的に青少年の健全育成を促していることから、事業成果は妥当と考える。</p> <p>【今後の方向性】 事業費や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており、事業費も適正であるため、継続すべき事業と考える。今後もより多くの青少年に参加してもらえよう、周知方法を再度検討したい。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	吹田青少年野外コンサート事業	事業区分	その他
事務事業番号	00985				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	80	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題としての取組	部として重点的な取組	その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 吹田青少年野外コンサートは、地域と行政のパイプ役で、青少年の健全育成と非行防止に努めている青少年指導員で構成される青少年指導員会が実施しており、演奏の発表だけでなく、司会を青少年が務めたり、フィナーレでは全ての参加者がお互い協力し合い、1つの曲を演奏するなど、青少年が自ら考え、交流する場を提供できていることから、本事業の実施意義はあるものと考えます。</p> <p>(2)有効性 青少年に野外で発表する場を提供し、グループ間の交流を図るとともに、参加した青少年全員の交流の場を設けることと合わせて、地域の青少年指導員と青少年のつながりをより密にすることを目的に開催しているが、概ね達成できている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時52分08秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事業事業番号	00986	こども文化鑑賞事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	50	青少年の仲間づくり							
予算事業	10931	01	10	05	02	02	01	05	こども文化鑑賞事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男				担当者（内線）東郷 竜樹（1P748-1354）				
根拠法令等	こども文化鑑賞事業開催要項								
事業開始年度	昭和42年度	直近の改正	平成20年度						
改正内容	映画上映を見直し、演劇鑑賞に統一								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市在住で、中学生以下の子供とその保護者		
目標	文化鑑賞により子供たちの豊かな情操を育む		
結果	青少年の健やかな育成		
事業概要	演劇鑑賞を通じて、子供たちに夢と感動を与え、豊かな情操を養うことで、青少年の健やかな育成に役立てる。 「市民平和のつどい」の一環として開催しており、子供向けに平和や友達の大切さを分かりやすく伝える機会とする。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(財)吹田市文化振興事業団
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	演劇の選定
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	600	593	700	695	600
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	3,051	2,963	3,116	3,111	2,984
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,051	2,963	3,116	3,111	2,984
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,051	2,963	3,116	3,111	2,984
財源計(C+D)	3,051	2,963	3,116	3,111	2,984

所属	青少年室
事務事業番号	00986

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	公演回数	回	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	公演回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,481.50	1,555.50	
			一般財源(千円)	1,481.50	1,555.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	参加者数	人	目標値	960.00	510.00	960.00
			実績値	600.00	368.00	
			達成度(%)	62.50	72.20	
目標値の積算方法	メイシアター中ホール定員人数(480人)×開催回数(2回)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4.94	8.45	
			一般財源(千円)	4.94	8.45	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 平和や友達の大切さを分かりやすく伝える機会を提供しているものの、具体的な成果を示すことは困難。	達成状況 達成状況を示すことは困難。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 通常であれば観覧料の徴収が必要なほど質の高い劇団を観覧料無料で招致できているため事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 1日に2回公演を実施している。例年はメイシアターで実施しているが平成29年度はメイシアターが工事期間中のため千里市民センターで開催した。参加人数に関する達成度は上昇しており、一定の成果を上げている。</p> <p>【今後の方向性】 演劇の文化鑑賞を通して子ども達に夢と感動を与え、青少年の健やかな育成に役立っており子どもの情操を育む事業として必要であると判断し、「市民平和のつどい」の一環としても今後も継続すべきと考えている。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	こども文化鑑賞事業	事業区分	その他
事務事業番号	00986				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	76	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	76	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(2) 有効性 「市民平和のつどい」の一環として開催しており、演劇や人形劇などを通して人と人の交流や思いやりなどを育むものを提供できている。テレビやインターネット偏重の時代にあっては子どもの情操教育に有効である。</p> <p>(3) 効率性 参加者アンケートを実施しているのでアンケート項目を工夫するなどしてニーズの把握に努めたい。また参加者に青少年事業関係等のピラを配布するなどして他事業との連携ができないかを検討していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時29分34秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00987	ヤングフェスティバル事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	50	青少年の仲間づくり							
予算事業	10932	01	10	05	02	02	01	99	ヤングフェスティバル事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男			担当者（内線）前田 健介（748-1354）					
根拠法令等	ヤングフェスティバル実施要項								
事業開始年度	昭和63年度	直近の改正	平成25年度						
改正内容	申込年齢を29歳以下から25歳以下にした。								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	20歳以下で吹田市内在住・在学・在勤の青少年を含む、全員が25歳以下（中学生以上）の団体		
目標	青少年が自ら考え実行できるという機会、他の仲間集団と交わる場を提供することにより青少年の自発性・社会性を養う。併せて青少年指導員との結びつきを一層深め、地域の連帯意識を向上させる。		
結果	青少年の健全育成		
事業概要	青少年によるロック・ポップス等の演奏と、ヒップホップ等のダンス		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田市青少年指導員会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	事業の実施
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	485	484	0	0	485
人件費職員数(人)	0.30	0.40	0.00	0.00	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	3,160	0	0	2,384
総事業費(A+B)	2,936	3,644	0	0	2,869
特定財源(C)	20	19	0	0	20
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	20	19	0	0	20
市負担(D)	2,916	3,625	0	0	2,849
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,916	3,625	0	0	2,849
財源計(C+D)	2,936	3,644	0	0	2,869

所属	青少年室
事務事業番号	00987

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	募集団体数の上限40組	団体	目標値	40.00	0.00	40.00
			実績値	34.00	0.00	
			達成度(%)	85.00	0.00	
目標値の積算方法	24+16(バンド募集団体数+ダンス募集団体数)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	107.18	0.00	
			一般財源(千円)	106.62	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	参加人数	人	目標値	357.00	0.00	357.00
			実績値	415.00	0.00	
			達成度(%)	116.20	0.00	
目標値の積算方法	実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	8.78	0.00	
			一般財源(千円)	8.73	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 平成29年度は開催会場であるメイシアターの改修工事に伴い、休止したため事業費の支出はなし。</p> <p>【指標数値の評価】 開催時期が11月ということもあり、このヤングフェスティバルを高中生最後の舞台と位置付けているグループもあるなど、日々の練習を披露する場であることはもちろんの事、他団体の参加者と交流したり、青少年スタッフとして自ら運営にも携わるなど、多角的に青少年の健全育成を促していることから事業成果は妥当と考える。</p> <p>【今後の方向性】 事業費や指標数値の分析を踏まえると、活動指標については目標をやや下回っているが、成果指標については目標を上回る効果が出ており、事業費も適正であるため、継続すべき事業と考える。</p>

事務事業分析シート

2018/6/814.02

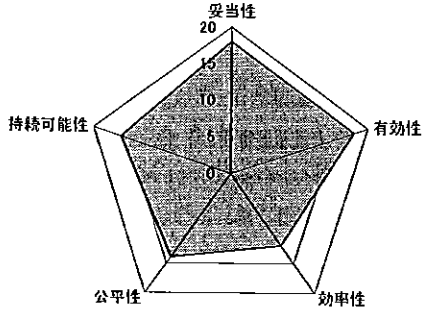
所属名	青少年室	事業名	ヤングフェスティバル事業	事業区分	その他
事務事業番号	00987				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 本事業は、地域と行政のパイプ役で、青少年の健全育成と非行防止に努めている青少年指導員で構成される青少年指導員会が実施しており、演奏の発表だけでなく、運営に関しても、各団体から1名から3名の協力者を集めるなどし、青少年が中心となって進めていることなど、青少年の健全育成に大きな効果が望めることから、本事業の実施意義はあるものとする。</p> <p>(2)有効性 青少年が自ら考え実行できるという機会を与え、ヤングフェスティバルの実施過程を通じ、青少年が他の仲間集団と交わる場を提供することにより自覚性・社会性を養い、併せて青少年指導員と地域の青少年との結びつきを一層深め、地域の連帯意識の向上を目指しているが、概ね達成できている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時30分17秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00988	地域安全・青少年育成吹田市民大会事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	50	青少年の仲間づくり							
予算事業	10934	01	10	05	02	02	01	98	地域安全・青少年育成吹田市民大会事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男			担当者（内線）釜江 和宏（748-1308）					
根拠法令等	地域安全・青少年育成吹田市民大会実施要項								
事業開始年度	平成8年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民全般		
目標	安心・安全で住みよいまちづくりを進めるため、広く市民の関心を喚起し、市民運動を展開する		
結果	青少年の健やかな育成		
事業概要	安心で住みよいまちづくり及び、青少年の健やかな成長を育むことを目的に、家庭・学校・地域・行政が一体となった市民運動を展開するため、毎年10月もしくは11月に「地域安全・青少年育成吹田市民大会」を開催している。内容は、実行委員会で検討しており、青少年の健全育成に関わる講演や警察による防犯関係の啓発を基本に実施している。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	地域安全青少年育成吹田市民大会実行委員会
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	事業の実施
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,800	1,799	0	0	1,800
人件費職員数(人)	0.30	0.40	0.00	0.00	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	3,160	0	0	2,384
総事業費(A+B)	4,251	4,959	0	0	4,184
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,251	4,959	0	0	4,184
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,251	4,959	0	0	4,184
財源計(C+D)	4,251	4,959	0	0	4,184

所属	青少年室
事務事業番号	00988

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	実行委員会構成団体及び協賛団体数	団体	目標値	59.00	0.00	58.00
			実績値	71.00	0.00	
			達成度(%)	120.30	0.00	
目標値の積算方法	実行委員会構成及び協賛団体数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	69.85	0.00	
			一般財源(千円)	69.85	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	大会の参加者	人	目標値	1,500.00	0.00	1,500.00
			実績値	900.00	0.00	
			達成度(%)	60.00	0.00	
目標値の積算方法	会場の収容数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.51	0.00	
			一般財源(千円)	5.51	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 平成29年度は開催会場であるメイシアターの改修工事に伴い、休止したため事業費の支出はなし。</p> <p>【指標数値の評価】 同上の理由で、活動指標の目標値、実績値、達成度とも数値は0。</p> <p>【今後の方向性】 毎年約1,000人が大会に参加しており、継続すべき事業と考える。 今後、吹田市安全安心の都市づくり協議会主催の安心安全の都市づくり市民会議との統合も含めて事務局である危機管理室との協議が必要。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	地域安全・青少年育成吹田市民大会事業	事業区分	その他
事務事業番号	00988				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	青少年室	事務事業番号	00988
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 平成29年度は開催会場であるメイシアターの改修工事に伴い、休止することとしたが、市民から大会に関する問い合わせや開催して欲しいという要望等を多数いただき、市民大会に対する関心の高さが伺えることから、今後も継続していくべき事業と考える。</p> <p>(2)有効性 青少年の健全育成に関わる団体が一堂に会して開かれる大会の意義、必要性は高いと考える。なお、平成31年度以降は、安心安全の都市づくり市民会議との事業統合も視野に検証していくこととする。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時31分00秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00989	吹田市青少年リーダー講習会事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	50	青少年の仲間づくり							
予算事業	10935	01	10	05	02	03	01	01	吹田市青少年リーダー講習会事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男			担当者（内線）	梶原（IP748-1355）				
根拠法令等	吹田市青少年リーダー講習会開催要項								
事業開始年度	昭和49年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	小学校5年生から中学生		
目標	野外活動等の体験を通して、青少年リーダーとしての知識・技術を習得する。		
結果	青少年リーダー育成を図る。		
事業概要	子供たちに親しみやすい「吹田市キャンプクラブ」という名称で本事業を実施している。地域で活躍する青少年リーダーの養成のきっかけづくりとして、ゲーム研修や野外活動等の実習を実施する。吹田市自然体験交流センター（わくわくの里）、吹田市立少年の家（もくもくの里）等で実施している。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	403	317	402	301	375
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	2,854	2,687	2,818	2,717	2,759
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,854	2,687	2,818	2,717	2,759
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,854	2,687	2,818	2,717	2,759
財源計(C+D)	2,854	2,687	2,818	2,717	2,759

所属	青少年室
事務事業番号	00989

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年間開催回数	回	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,343.50	1,358.50	
			一般財源(千円)	1,343.50	1,358.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	事業申込み人数	人	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	81.00	70.00	
			達成度(%)	81.00	70.00	
目標値の積算方法	参加者定員	単位当たりコスト	総事業費(千円)	33.17	38.81	
			一般財源(千円)	33.17	38.81	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 キャンプ活動などの自然体験活動・野外活動を通じ、継続的に地域で活躍するリーダーを養成した。	達成状況 子供の選択肢の増加により、リーダー活動をする子供は減少している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 春・冬においてボランティアリーダースタッフの食糧費や燃料費を削減し、事業費の見直しを図った。</p> <p>【指標数値の評価】 昨年度と比較し実績値が微減しているが事業成果はおおむね妥当と考えられる。 微減の原因として、子供たちの選択肢の増加が考えられるが、開催回数を見直しするとともに春・冬のいずれかも参加可能にし、改善を図っている。</p> <p>【今後の方向性】 過去に本事業に参加した子供が、ボランティアリーダースタッフとして協力したという実績もあるため、引き続き子供が興味を惹かれるようなプログラム等を検討しながら継続すべきと考える。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	吹田市青少年リーダー講習会	事業区分	その他
事務事業番号	00989				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 青少年の健全育成につながる場として市が関与すべき事業であり、参加者がリーダーとして地域や事業で活躍している。 地域において、リーダーが減少していることから、リーダーを継続して養成するためにゲーム研修や野外活動を行っている本事業の実施意義はあるものと考えられる。</p> <p>(4)公平性 本事業への参加は、キャンプクラブへ登録していただく必要はあるが、登録においては市報に掲載し、募集を行っている。 また、募集が予定人数を超えた場合は抽選を行うなど、公平性が保たれていると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時32分00秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00990	吹田市・若狭町子ども会リーダー交歓会事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	50	青少年の仲間づくり		
予算事業	10936	01	10	05 02 03 01 02 吹田市・若狭町子ども会リーダー交歓会事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男		担当者（内線）梶原（1748-1354）	
根拠法令等	吹田市・若狭町子ども会リーダー交歓会実施要項			
事業開始年度	昭和45年度	直近の改正	平成18年度	
改正内容	両市町共に、ホームステイの受け入れ先の確保が困難な状況となったため協議の結果、平成18年度よりホームステイは中止することとした。			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市内子ども会のリーダー		
目標	若狭町のリーダーと交流を行う。		
結果	交流を通し、青少年の健全育成を図る。		
事業概要	昭和46年（1970年）に吹田市で開催された万国博覧会に、本市が福井県三方町（現若狭町）の子供たちを招待したことを契機に青少年リーダー同士の交流を深めることを目的として、隔年ごとに両市町を訪問する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	257	172	338	271	236
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	2,708	2,542	2,754	2,687	2,620
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,708	2,542	2,754	2,687	2,620
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,708	2,542	2,754	2,687	2,620
財源計(G+D)	2,708	2,542	2,754	2,687	2,620

所属	青少年室
事務事業番号	00990

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開催日数	日	目標値	3.00	3.00	3.00
			実績値	3.00	3.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	自然体験プログラムなどを3日間で実施	単位当たりコスト	総事業費(千円)	847.33	895.67	
			一般財源(千円)	847.33	895.67	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	交歓会参加者人数	人	目標値	32.00	32.00	32.00
			実績値	25.00	26.00	
			達成度(%)	78.10	81.30	
目標値の積算方法	おおむね小学校区から1名	単位当たりコスト	総事業費(千円)	101.68	103.35	
			一般財源(千円)	101.68	103.35	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
交歓会の参加者がボランティアリーダースタッフとして団体へ加入した。	達成状況 ボランティアリーダーは減少しているが、いくつかある団体へ参加者が加入した実績がある。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の評価】 事業費について、プログラムを実施するのに必要な使用料等の見直しを行った。</p> <p>【指標数値の評価】 参加人数について、目標は達成できていないものの、実績値は横ばいである。目標を達成するためには、子供会加入という条件を緩和する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 現状、子供会加入数の減少により活動が低迷し、青少年リーダーが集まらず、また、子供たちと一緒に活動してもらおうボランティアリーダースタッフについても集めるのに苦慮している。しかしながら、長年継続してきた事業であり、親子2代での参加者もいるため、この事業に関係している団体と参加者の募集方法やボランティアリーダースタッフの確保等について協議し、実施方法を検討したうえで今後も継続すべきと考える。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	吹田市・若狭町こども会リーダー交流会	事業区分	その他
事務事業番号	00990				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 フレンドシップ協定を結んでいる若狭町と約40年にわたり継続している事業である。当初、子供会の交流として始まった事業であり、参加費を徴収して実施している。若狭町では、現在も子供会や子供会リーダーの活動が継続して行われているが、吹田市では子供会も子供会リーダーの活動も縮小しており、リーダーがなかなか育っていないのが現状である。 産業構造や人口などが大きく異なる吹田市と若狭町の子供たちが交流するこの事業はとても意義あるもの考えるため、事業の主旨を活かしつつ、対象の見直し、参加者の募集方法やボランティアリーダースタッフの確保等について関係団体等と協議していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時32分46秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00991	吹田市スカウトリーダー養成事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	50	青少年の仲間づくり		
予算事業	10938	01	10	05 02 03 01 03 吹田市スカウトリーダー養成事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男		担当者（内線）梶原（IP748-1354）	
根拠法令等	吹田市スカウトリーダー養成事業			
事業開始年度	不明	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	ボーイスカウト・ガールスカウト		
目標	リーダー養成事業を行う。		
結果	資質の向上、次代を担うスカウトリーダーの養成が図られる。		
事業概要	青少年活動指導者養成の一環として、スカウトリーダーの養成講習会を開催。ボーイスカウト、ガールスカウトに加盟登録し、講習会や研修会を実施することにより、スカウト運動の原理とその方法を正しく理解し、青少年の健全育成に役立てることを目的とする。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田市スカウト連絡協議会
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	事業の実施
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	100	100	100	100	100
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	917	890	906	906	895
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	917	890	906	906	895
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	917	890	906	906	895
財源計(C+D)	917	890	906	906	895

所属	青少年室
事務事業番号	00991

2頁
平成30年 6月 8日
11時32分46秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	スカウトリーダー講習会参加者数	人	目標値	400.00	540.00	470.00
			実績値	441.00	530.00	
			達成度(%)	110.30	98.10	
目標値の積算方法	講習会や研修会の予定参加者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.02	1.71	
			一般財源(千円)	2.02	1.71	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	講習会や研修会の開催数	回	目標値	6.00	6.00	6.00
			実績値	6.00	6.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	講習会や研修会の開催数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	148.33	151.00	
			一般財源(千円)	148.33	151.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 講習会や研修会を通して原理や基本を学び、次代を担うスカウトリーダーの養成を行った。	達成状況 スカウト活動に参加する子供が減少する中で、参加人数が増加していることから、スカウトリーダーの養成に成功している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価) <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明 【事業費等の評価】 スカウト運動の原理とその方法の基本を正しく理解するため、リーダー養成講習会や研修会を実施しており、適切な事業費を支出している。 【指標数値の評価】 実績値のうち参加者数に注目すると、目標値は達成していないが、昨年度よりも増加している。 【今後の方向性】 参加人数が増えているという実績もあり、次代を担うスカウトリーダーの養成、青少年健全育成に寄与していることから、今後も継続して実施する必要があると考える。	

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	吹田市スカウトリーダー養成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00991				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 o. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 e. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(6点)	6点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	74	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>(2)有効性 平成29年度は、参加予定人数を超えることはできなかったが、参加人数は平成28年度と比べ、増加した。リーダー養成講習会や研修会への参加人数が増加することは、スカウト運動の原理とその方法の基本を理解する場として正しく機能していると考え。</p> <p>(3)効率性 ボーイスカウト及びガールスカウトは、独自の活動のほか、地域や市が主催する事業にも積極的に参加・協力をいただいております。市としても引き続きスカウトリーダー養成を支援していくべきと考え。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
15時41分02秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00992	青少年指導者講習会事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	50	青少年の仲間づくり							
予算事業	10940	01	10	05	02	03	01	04	青少年指導者講習会事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男				担当者（内線）澤田 美純（748-1353）				
根拠法令等	青少年指導者講習会開催要項								
事業開始年度	平成元年	直近の改正	平成25年度						
改正内容	こども会育成者指導者講習会を統合								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	青少年活動に関わっている人、今後関わる人		
目標	青少年健全育成にむけた指導者の養成		
結果	地域で大人の目と心で子供を見守り育てる環境づくりに役立てる		
事業概要	青少年の健全育成を推進するために、その時々課題や理解啓発をテーマにネットいじめやLGBTなどに関する講演、子供との関わり方などの指導、救急法やレクリエーションなどの実技の講座等を開催。子供を取り巻く課題を啓発し、地域の大人の目と心で子供を見守り、育てる環境作りを進めるための指導者の育成を図る。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	130	85	130	119	130
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,347	2,384
総事業費(A+B)	2,581	2,455	2,546	2,466	2,514
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,581	2,455	2,546	2,466	2,514
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,581	2,455	2,546	2,466	2,514
財源計(C+D)	2,581	2,455	2,546	2,466	2,514

所属	青少年室
事務事業番号	00992

2頁
平成30年 8月14日
15時41分02秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	実施回数	回	目標値	6.00	6.00	0.00
			実績値	8.00	6.00	
			達成度(%)	133.30	100.00	
目標値の積算方法	実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	306.88	411.00	
			一般財源(千円)	306.88	411.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	参加者数	人	目標値	423.00	324.00	324.00
			実績値	345.00	268.00	
			達成度(%)	81.60	82.70	
目標値の積算方法	小学校区×1.5人×実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.12	9.20	
			一般財源(千円)	7.12	9.20	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	アンケート結果	%	目標値	0.00	95.00	95.00
			実績値	0.00	91.70	
			達成度(%)	0.00	96.50	
目標値の積算方法	「参考になった」回答者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	26.89	
			一般財源(千円)	0.00	26.89	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の評価】事業費は適切である。吹田市の職員講師謝礼基準を基に事業を実施し、無料の講師を探すなどの努力をしている。</p> <p>【指標数値の評価】地域の青少年に関わる方々を対象として青少年の健全育成を推進するために年間6回開催するのは妥当である。参加者数は目標に達していないが、増加傾向にあり、事業成果は妥当だと考える。</p> <p>【今後の方向性】その時々課題や理解啓発をテーマとして開催している。LGBTの当事者による講演や活動中の安全管理、子供との関わり方などの指導、救急法やレクリエーションなどの実技の講座等を開催。</p> <p>「地域の大人の目と心で子供を見守り、育てる環境作りを進めるための指導者の育成を図る」という目標を果たしていることから、継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	青少年指導者講習会	事業区分	その他
事務事業番号	00992				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞り等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	84	一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 青少年の健全育成に関わっているボランティアが安心・安全に活動出来るように様々なテーマで講習会を実施することは、市が関与するべき事業であり、実施意義はあるものと考えられる。</p> <p>(3)効率性 地域などで青少年活動に関わっている人やこれから関わる人に、子供との関わり方や救急法など、必要な知識や技能を習得する機会の提供を行うことは必要であると考え。また、テーマについても青少年活動者のニーズに合うように研究をしている。従前は子供会の育成者、青少年指導員対象者、太陽の広場安全管理員対象の研修など、個別に開催していたが内容が共通しているものについては、青少年指導者講習会としてこの事業への統合を行なったことにより、様々なテーマで開催することができている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時38分04秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00993	地区青少年健全育成事業への助成事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり			
細節	60	青少年を育てる家庭・地域づくり			
予算事業	10942	01	10	05 02 03 02 01	地区青少年健全育成事業への助成事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男		担当者（内線）釜江 和宏（748-1308）		
根拠法令等	「吹田市地区青少年健全育成事業補助金交付要領」				
事業開始年度	昭和49年度	直近の改正	平成29年度		
改正内容	「吹田市地区青少年健全育成事業補助金交付要領」を廃止し、「吹田市地区青少年健全育成事業補助金交付要領」を制定				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	各地区青少年対策委員会（33地区）		
目標	地区青少年対策委員会が実施する青少年育成事業への助成を行い、地域における青少年の健全育成事業の充実を図る。		
結果	地域が一体となった子どもを守り育てる環境づくりを通じて、青少年の健全育成が図られる。		
事業概要	地区青少年対策委員会が実施する青少年の健全育成事業に対して補助金を交付し、地域における青少年活動の総合的な推進を図る。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	各地区青少年対策委員会（33地区）
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	15,543	15,092	15,623	15,210	15,508
人件費職員数(人)	0.30	0.50	0.40	0.40	0.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	3,950	3,221	3,221	3,178
総事業費(A+B)	17,994	19,042	18,844	18,431	18,686
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	17,994	19,042	18,844	18,431	18,686
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	17,994	19,042	18,844	18,431	18,686
財源計(C+D)	17,994	19,042	18,844	18,431	18,686

所属	青少年室
事務事業番号	00993

2頁
平成30年 6月 8日
11時38分04秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	助成している青少年対策委員会数	地区	目標値	33.00	33.00	33.00
			実績値	32.00	32.00	
			達成度(%)	97.00	97.00	
目標値の積算方法	青少年対策委員会全地区(33地区)への助成	単位当たりコスト	総事業費(千円)	595.06	575.97	
			一般財源(千円)	595.06	575.97	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	青少年対策委員会主催事業への参加人数	人	目標値	105,661.00	107,722.00	114,074.00
			実績値	70,000.00	80,000.00	
			達成度(%)	66.20	74.30	
目標値の積算方法	補助対象青少年数(30歳未満)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.27	0.23	
			一般財源(千円)	0.27	0.23	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 地域の実情やニーズに合わせた事業展開が可能であり、効果も大きいと考える。また、地域が事業を自ら計画・実施し、市が補助していくことが地域の教育力を拡大させる意味からも重要であり、今後も継続する必要があると考える。</p> <p>【指標数値の評価】 青少年対策委員会のほか青少年指導員会やPTAや子供会などと連携して事業を実施している地区も多く地域全体で取り組んでいて事業の成果は大きい。</p> <p>【今後の方向性】 各地域とも様々な事業を行っており、事業費も適正であるため、継続すべき事業と考える。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	地区青少年健全育成事業への助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00993				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 地域における青少年の健全育成事業は、地域の青少年関係団体で組織された地区青少年対策委員会が主体となり実施することにより、地域の実情やニーズに合わせた事業展開が可能であり、効果も大きいものとする。引き続き市が補助していくことが地域の教育力を拡大させる意味からも重要であり、今後も継続する必要があると考える。平成27年4月から千里丘北小学校が開校しているが、青少年対策委員会等、地域の団体がまだ整備されていないので、整備された時点で補助していきたい。</p> <p>(2)有効性 行政ではできない地域の特性や性質を生かした事業を展開していて、その効果は高い。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時44分00秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00995	青少年健全育成保険加入等事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり			
細節	60	青少年を育てる家庭・地域づくり			
予算事業	10944	01	10	05 02 03 02 02	青少年健全育成保険加入等事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男		担当者（内線）東郷（1P748-1354）		
根拠法令等					
事業開始年度	平成18年度	直近の改正			
改正内容					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	青少年の健全育成活動中の指導者等		
目標	「市民活動災害補償制度」の対象外となる指導者等について、保険加入		
結果	保険制度の整備により青少年健全育成活動の充実を図る。		
事業概要	<p>市の総合的な市民活動を対象とした保険制度である「市民活動災害補償制度」の対象外となる部分について、保険に加入し、指導者等が安心して活動できるようにする。保険の適用対象は以下のとおり。</p> <p>①青少年健全育成活動事業の参加者 ②学校週5日制に伴う小学校開放事業管理人 ③こどもプラザ事業安全管理員、こどもプラザ事業学習アドバイザー</p>		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	交付先③		
		内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,130	1,052	1,131	944	1,138
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	2,764	2,632	2,742	2,555	2,727
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,764	2,632	2,742	2,555	2,727
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,764	2,632	2,742	2,555	2,727
財源計(C+D)	2,764	2,632	2,742	2,555	2,727

所属	青少年室
事務事業番号	00995

2頁
平成30年 6月 8日
11時44分00秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保険適用件数	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,632.00	2,555.00	
			一般財源(千円)	2,632.00	2,555.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 保険加入等により、安心して青少年健全育成活動を行うことができ ており、円滑な事業運営につながっている。	達成状況

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 「市民活動災害補償制度」ではカバーできない有償ボランティアの方などの事故を保障するため加入している。これにより青少年健全育成活動全体の保障を確保できるため事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 保険適用件数は過去5年間で見ると0~2件で推移している。保険対象となる事故は偶発的なものであり事故が起これないのが最良であるので成果は評価しにくい。保険加入の対象範囲はおおむね妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 青少年の健全育成を推進するため地域では様々な事業が行われているが、それらを支えるボランティアの市民の方々が安心して活動できるようにする援助として、保険制度に加入することは必要であり継続すべきと考える。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	青少年健全育成保険加入等事業	事業区分	その他
事務事業番号	00995				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	78	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	青少年室	事務事業番号	00995
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 ボランティア等の力を借りて行事を開催する際の怪我や事故への対応については、市の市民活動災害補償制度が基本となるが、宿泊を伴う行事や有償ボランティアについては対象とならない。青少年に関わる市民ボランティアの活動を側面から援助するため、保険制度に加入することは必要であるとする。</p> <p>(3)効率性 平成28年度までは3つの事業別で3つの保険に加入していたが、平成29年度から3事業の加入する保険を1つに統合したことにより保険料の削減、事務の効率化をはかることができた。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時51分24秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00996	非行防止・環境整備事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	40	青少年の居場所づくり							
予算事業	10945	01	10	05	02	03	03	01	非行防止・環境整備事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男				担当者（内線）前田 健介（IP748-1354）				
根拠法令等	子ども・若者育成支援推進法								
事業開始年度	昭和60年度	直近の改正	平成22年度						
改正内容	子供・若者育成支援推進法の施行により、従来の「青少年健全育成強調月間」が「子供・若者育成支援推進月間」に名称変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	青少年及び一般市民		
目標	11月を「子供・若者育成支援強調月間」と定め、家庭・学校・地域が一体となり、青少年の健全育成に対する啓発とその活動への参加を促進する。		
結果	青少年の健全育成を図る。		
事業概要	各地区の青少年指導員、各地区青少年対策委員会が中心となって、以下の事業を実施。 啓発活動：チラシ、のぼり、懸垂幕による啓発。非行防止用各種啓発用視聴覚機器（フィルム・ビデオ等）の貸し出し。有害な図書類の販売及び貸付けの自粛協力依頼。街頭宣伝活動の実施。 実践活動：全市一斉パトロール。青少年の自発的な清掃奉仕、環境美化活動の推進。「青少年健全育成協力店」の実態調査と連絡強化。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	300	450	270	268	270
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	1,934	2,030	1,881	1,879	1,859
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,934	2,030	1,881	1,879	1,859
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,934	2,030	1,881	1,879	1,859
財源計(C+D)	1,934	2,030	1,881	1,879	1,859

所属	青少年室
事務事業番号	00996

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	各地区の環境整備事業（パトロール）の実施回数	回	目標値	66.00	66.00	66.00
			実績値	64.00	62.00	
			達成度(%)	97.00	93.90	
目標値の積算方法	各地区パトロール実施回数（2回）×33地区	単位当たりコスト	総事業費(千円)	31.72	30.31	
			一般財源(千円)	31.72	30.31	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	全市一斉合同パトロール参加者数	人	目標値	1,320.00	1,320.00	1,320.00
			実績値	2,085.00	3,768.00	
			達成度(%)	158.00	285.50	
目標値の積算方法	実施回数（2回）×33地区×20人	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.97	0.50	
			一般財源(千円)	0.97	0.50	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 年2回、全市一斉パトロールを青少年指導員会及び地区青少年対策委員会の協力を得て実施しており、啓発用のぼりやポールは1小学校区ごとに5本までと制限するなどし、事業費の削減に努めている。パトロール、清掃奉仕などの実践活動と有害図書類などの販売自粛協力依頼などの啓発活動を実施し、地域の青少年非行防止・環境整備に努めていることは大きな成果であることから、事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 大阪府下の数字ではあるが、少年検挙、捕導件数は減少しており、事業評価はおおむね妥当。</p> <p>【今後の方向性】 活動指標については、雨天中止等の影響により目標は下回っているが、成果指標については目標を上回る効果が出ており、事業費も適正であるため、継続すべき事業と考える。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	非行防止・環境整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	00996				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	90	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年室	事務事業番号	00996
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 青少年の健全育成・非行防止に関して、地域の目を持って青少年の非行の芽を摘むことが非常に重要であり、子供・若者育成支援強調月間に各地区にて行っている全市一斉合同パトロールなど、重点啓発事業の実施意義はあるものとする。</p> <p>(2)有効性 大阪府下ではあるが、少年の検挙・補導件数は年々減少している。しかし、全国的に見ると依然として高い水準であり、引き続き地域一丸となって青少年の健全育成・非行防止に取り組む必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

内閣府では、7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月を「子ども・若者育成支援強調月間」と定め、関係省庁、地方公共団体及び民間団体の参加・協力を得て、関係諸事業、諸活動を集中的に実施するなどして、より多くの国民が子ども・若者育成支援と非行・被害防止に関心を高め、取り組みを進めるよう主唱している。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時52分50秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00997	自然体験活動・環境教育推進事業				
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり				
細節	60	青少年を育てる家庭・地域づくり				
予算事業	10946	01	10	05	02 04 01 01	自然体験活動・環境教育推進事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男				担当者（内線）谷井（IP748-1353）	
根拠法令等						
事業開始年度	平成19年度	直近の改正				
改正内容						
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他	
対象	不登校、いじめ、ひきこもりなど様々な課題を抱えた市内の小中学生等	
目標	自然体験活動を通じて思いやりの心や社会性を身につけ、「生きる力」を自ら育む。	
結果	生きる力を養い、豊かな人間性を育むことにより、社会の一員として、自己有用感を持たせる。	
事業概要	海洋体験（カヌー等）、雪遊び、スキーなどの自然体験と、家を離れ仲間と共に過ごす生活体験活動や自然体験活動実施のための専門指導員（非常勤職員）を配置する。	
実施方法	■ 直接実施	
	□ 委託又は一部委託	委託先①
		委託先②
		委託先③
	主な委託内容	
□ 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②	
	交付先③	
□ その他	内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,000	3,634	3,661	3,662	3,666
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	4,817	4,424	4,467	4,468	4,461
特定財源(C)	17	13	12	12	10
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	17	13	12	12	10
市負担(D)	4,800	4,411	4,455	4,456	4,451
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,800	4,411	4,455	4,456	4,451
財源計(C+D)	4,817	4,424	4,467	4,468	4,461

所属	青少年室
事務事業番号	00997

2頁
平成30年 6月 8日
11時52分50秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「さわやか元気キャンプ」開催回数	回	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	「さわやか元気キャンプ」開催予定回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,212.00	2,234.00	
			一般財源(千円)	2,205.50	2,228.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「さわやか元気キャンプ」参加人数	人	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	29.00	39.00	
			達成度(%)	58.00	78.00	
目標値の積算方法	「さわやか元気キャンプ」募集人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	152.55	114.56	
			一般財源(千円)	152.10	114.26	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
<p>単年度で具体的な成果を上げるまでには至らないが、長期的な視点で捉えた場合、参加者が学校に行く日数が増えたり、自身の特技を生かせる高校に進学したなどの成果がある。</p>	<p>達成状況 自然の素晴らしさや人とのつながりを実感できる機会を提供しており、概ね目標を達成している。</p>

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 「山の学校・海の学校事業(さわやか元気キャンプ)」等の自然体験活動を担当する自然体験活動専門指導員(非常勤職員)に係る人件費のみであり、事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 「山の学校・海の学校事業」の参加者数は増加傾向にあるため、事業成果はおおむね妥当。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており、事業費も適正であるため、継続すべき事業と考える。</p>

事務事業分析シート

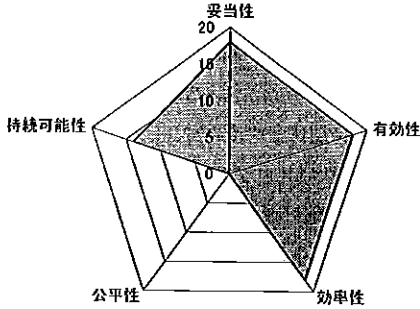
所属名	青少年室	事業名	自然体験活動・環境教育推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00997				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
評価点合計 (100点満点)	85	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 不登校の児童生徒が通う「光の森」「学びの森」と連携をはかりながら、児童生徒との関係を深め、「さわやか元気キャンプ」の参加を促しながら、学校復帰への準備の一助を担っており、市が関与すべき事業である。 また、参加者数も増加傾向にあり、本事業の実施意義はあるものとする。</p> <p>(2)効率性 自然体験活動専門指導員は、元教員であり、学校等との連携がスムーズに行うことできているため、事業の効率性は高いと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時53分46秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00998	山の学校・海の学校事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	60	青少年を育てる家庭・地域づくり		
予算事業	10947	01	10	05
所属長	室長 前田 隆男	02	04	01
根拠法令等		02	山の学校・海の学校事業（青少年教育費）	
事業開始年度	平成19年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	不登校、いじめ、ひきこもりなど様々な課題を抱えた市内の小中学生		
目標	自然体験活動を通じて思いやりの心や社会性を身につけ、「生きる力」を自ら育む。		
結果	生きる力を養い、豊かな人間性を育むことにより、社会の一員として、自己有用感を持たせる。		
事業概要	子供たちに親しみやすい「さわやか元気キャンプ」という名称で事業を実施している。海洋体験（カヌー等）、雪遊び、スキーなどの自然体験と、家を離れ仲間と共に過ごす生活体験活動を展開している。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	808	471	808	624	787
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	3,259	2,841	3,224	3,040	3,171
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,259	2,841	3,224	3,040	3,171
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,259	2,841	3,224	3,040	3,171
財源計(C+D)	3,259	2,841	3,224	3,040	3,171

所属	青少年室
事務事業番号	00998

2頁
平成30年 6月 8日
11時53分46秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「さわやか元気キャンプ」開催回数	回	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	「さわやか元気キャンプ」開催予定回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,420.50	1,520.00	
			一般財源(千円)	1,420.50	1,520.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「さわやか元気キャンプ」参加人数	人	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	29.00	39.00	
			達成度(%)	58.00	78.00	
目標値の積算方法	「さわやか元気キャンプ」募集人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	97.97	77.95	
			一般財源(千円)	97.97	77.95	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
<p>参加者一人一人の目標が異なり、単年度で具体的な成果を上げるまでには至らないが、長期的な視点で捉えた場合、参加者が学校に行く日数が増えたなどの成果がある。</p>	<p>達成状況 自然の素晴らしさや人とのつながりを実感できる機会を提供しており、概ね目標を達成している。</p>

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】 経済的な理由で参加できない生活保護世帯に対する補助金制度を創設し、一部事業費を増額したものの、夏キャンプの実施日数を減らすことにより総事業費を削減したため、事業費は適切であると考え。</p> <p>【指標数値の評価】 参加者数は増加傾向にあり、本事業が直接の理由とは断言できないが、学校等との連携により、参加者の中から学校に復帰した児童生徒もいることから、事業成果はおおむね妥当。</p> <p>【今後の方向性】 事業費や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており、事業費も適正であるため、継続すべき事業と考える。 また、過去の参加者で現在高校生になっている生徒に、ボランティアとして協力を得られるよう検討が必要。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	山の学校・海の学校事業	事業区分	その他
事務事業番号	00998				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要な事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 不登校児童生徒が、将来のニートや引きこもりになる恐れは十分にあり、義務教育の間の早い段階であれば、キャンプ参加後のフォローなど、学校との連携が可能。また、いわゆる「元気な子供を対象とした自然体験活動」は民間やNPO団体等が数多く実施しているが、不登校児童生徒を対象としたキャンプはまだまだ少ないことから、市が関与すべき事業である。参加者数も増加傾向にあり、本事業の実施意義はあるものとする。</p> <p>(2)有効性 このキャンプに行けば直ぐに学校に復帰するということではないが、学校を休みがちな「登校渋り」の子供も含めて、キャンプ生活で自信をつけることで学校復帰した児童生徒もいることから、有効性のある事業と言える。</p>		

4. その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
13時38分32秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00999	こどもプラザ事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	40	青少年の居場所づくり							
予算事業	10948	01	10	05	02	05	01	01	こどもプラザ事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男				担当者（内線）澤田 美純（IP748-1353）				
根拠法令等	こどもプラザ事業実施要領、放課後子ども総合プラン								
事業開始年度	平成15年度	直近の改正	平成25年度						
改正内容	補助事業から委託事業に変更している。 平成25年度より太陽の広場拡充実施事業を統合し、こどもプラザ事業として実施。								
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 市が実施する事業について、大阪府の補助金制度を活用している。								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市内小学校の全児童		
目標	小学校の運動場などを利用して、児童が安心して安全に過ごせる居場所や体験活動の機会などを提供する。		
結果	地域が一体となって子供を守り育てる環境づくりを通じて児童の健全育成を図る。		
事業概要	児童が安心して安全に過ごせる居場所や体験活動の機会を提供するため、小学校の運動場などを利用し放課後に「太陽の広場」、土曜日等に「地域の学校」を実施している。 また、この事業を通じて、子供に関わる地域の大人の教育コミュニティの形成を目指している。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	市内の各中学校区地域教育協議会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	こどもプラザ事業の運営
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	32,460	28,786	32,280	28,576	32,218
人件費職員数(人)	1.40	1.40	1.50	1.50	1.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	11,438	11,060	12,078	11,735	11,918
総事業費(A+B)	43,898	39,846	44,358	40,311	44,136
特定財源(C)	3,696	3,439	3,635	3,440	3,434
国	0	0	0	0	0
府	3,643	3,410	3,593	3,410	3,404
その他	53	29	42	30	30
市負担(D)	40,202	36,407	40,723	36,871	40,702
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	40,202	36,407	40,723	36,871	40,702
財源計(C+D)	43,898	39,846	44,358	40,311	44,136

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	こどもプラザ事業の実施校	校	目標値	36.00	36.00	36.00
			実績値	36.00	36.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	こどもプラザ事業の実施校	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,106.83	1,119.75	
			一般財源(千円)	1,011.31	1,024.19	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	こどもプラザ事業の実施回数	回	目標値	2,300.00	2,250.00	2,222.00
			実績値	2,250.00	2,222.00	
			達成度(%)	97.80	98.80	
目標値の積算方法	前年度のこどもプラザ事業の実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	17.71	18.14	
			一般財源(千円)	16.18	16.59	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「活動プログラム」の開催校数	校	目標値	36.00	36.00	36.00
			実績値	29.00	32.00	
			達成度(%)	80.60	88.90	
目標値の積算方法	市内全36校での「活動プログラム」の実施	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,374.00	1,259.72	
			一般財源(千円)	1,255.41	1,152.22	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「活動プログラム」の参加者数	人	目標値	3,562.00	3,562.00	4,511.00
			実績値	3,562.00	4,511.00	
			達成度(%)	100.00	126.60	
目標値の積算方法	前年の参加者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	11.19	8.94	
			一般財源(千円)	10.22	8.17	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】開催日数、開催時間に応じて委託料を支払い、雨天等で開催が中止になった場合は返還している。事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】全36小学校で実施している。</p> <p>平成29年度は開催予定日は増えていたが、天候等の理由で中止になり開催回数はわずかに減少している。</p> <p>【今後の方向性】子供たちの安心安全な居場所として、学校の運動場や図書室などを利用して、放課後の居場所づくりとしてはふさわしいものと考えている。地域においても、子供を守り育てる環境づくりを通じて児童の健全育成にもつながっており、更に本事業の趣旨である市民全体の協働として、フレンドなど地域住民の関わりを促していることから事業の効果は得られていると考えている。</p> <p>また、新たな体験活動を提供する「活動プログラム」を、32校で133講座開催することができ、少しずつではあるが広がってきている。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	子どもプラザ事業	事業区分	その他
事務事業番号	00999				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	青少年室	事務事業番号	00999
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

国の放課後子ども総合プランでは、こどもプラザ事業と留守家庭児童育成室の両事業が連携して、放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことを目指しており、本市では、国に先駆けてプランの趣旨・目的は一定満たしている。

指摘事項となる開催回数之差について、この理由として見守りボランティアの人材確保や見守りにかかる組織の体制など、地域の方々の抱える課題もあるが、児童数や学校の空き教室の状況など、各学校により条件が違っており、36小学校でそれぞれの地域が創意工夫のもと、太陽の広場を実施していることが本市の特徴である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(2)有効性 放課後子ども総合プランを進めるにあたり、留守家庭児童育成室との更なる連携が必要であるため、協議の機会を多く持ち、連携を進めている。また、事業に携わる安全管理員(フレンド)を確保する方策や、実施場所を確保することも引き続き検討課題である。</p> <p>(3)効率性 平成28年度から留守家庭児童育成室の児童を含む全ての児童に体験活動の場を提供する新たな「活動プログラム」を開始した。29年度は33小学校で133講座実施となり昨年度より4校、19講座多くなり、新たな体験活動を提供することにより、「太陽の広場」の活性化を図ることができた。今後は、各広場で地域の指導者による様々な活動プログラムを広めるなど、内容の充実を図り、週1回以下の学校については、開催回数の増加をお願いしていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年8月「放課後子ども総合プラン」を文部科学省・厚生労働省が発表。平成29年1月23日付けで国が同プランの進捗状況を発表しており、全1,741市町村中、本市のように①同一小学校内で留守家庭児童育成室と太陽の広場を実施している市町村数は356(20.4%)、②そのうち共通プログラムを実施している市町村数は209(12.0%)である。この現状を踏まえて、本市は全国に先駆けて、同プランの目標を満たしているものと分析している。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月15日
16時26分18秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01000	こどもプラザ運営事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	40	青少年の居場所づくり							
予算事業	10949	01	10	05	02	05	02	01	こどもプラザ運営事業（青少年教育費）
所属長	室長 前田 隆男			担当者（内線）	澤田 美純（IP748-1353）				
根拠法令等	こどもプラザ運営事業設置要領、放課後子ども総合プラン								
事業開始年度	平成19年度	直近の改正	平成25年度						
改正内容	こどもプラザ事業推進本部運営事業をこどもプラザ運営事業に名称変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	各小学校区のこどもプラザ事業		
目標	こどもプラザ事業の実施について、その評価検証・支援を行うと共に、学校や他事業との連絡調整を行い事業の円滑な実施を図っていく。		
結果	こどもプラザ事業等の事業を円滑に進めることが出来、子供たちの安心安全な放課後の居場所づくりに貢献できる。		
事業概要	こどもプラザ事業の円滑な実施を図るため、事業に対する評価検証・支援を行なう。また学校や他事業との連絡調整、事業に携わるボランティアスタッフへの研修の実施などを行ない、事業の円滑な実施を図ることを内容としている。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	□ 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,055	4,028	4,308	4,130	4,790
人件費職員数(人)	0.80	0.80	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	6,536	6,320	8,052	7,823	7,945
総事業費(A+B)	10,591	10,348	12,360	11,953	12,735
特定財源(C)	68	58	64	56	62
国	0	0	0	0	0
府	50	44	50	44	50
その他	18	14	14	12	12
市負担(D)	10,523	10,290	12,296	11,897	12,673
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,523	10,290	12,296	11,897	12,673
財源計(C+D)	10,591	10,348	12,360	11,953	12,735

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	フレンド連絡会の開催回数	回	目標値	3.00	3.00	3.00
			実績値	3.00	3.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	学期に1回	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3,449.33	3,984.33	
			一般財源(千円)	3,430.00	3,965.67	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	フレンド連絡会の参加者数	人	目標値	108.00	108.00	108.00
			実績値	144.00	194.00	
			達成度(%)	133.30	179.60	
目標値の積算方法	各校から1.5名 36校×3回	単位当たりコスト	総事業費(千円)	71.86	61.61	
			一般財源(千円)	71.46	61.32	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	フレンド連絡会アンケート結果	%	目標値	0.00	95.00	95.00
			実績値	0.00	93.50	
			達成度(%)	0.00	98.40	
目標値の積算方法	「参考になった」回答	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	127.84	
			一般財源(千円)	0.00	127.24	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。30年度はこどもプラザ運営指導員の勤務日数を週3日から4日に増やした。</p> <p>【今後の方向性】 こどもプラザ事業の開催回数の増加に向けて学校との協議等他、年3回のフレンド連絡会と各広場への巡回により、こどもプラザ事業の運営、事業の評価検証、他事業との連絡調整、事業に従事するスタッフへの助言等を行っている。</p> <p>吹田市放課後子ども総合プラン運営会議を定期的に開催しており、放課後子ども育成課と連携を図っている。また、会議の構成員として地域の代表者やPTAの方の参加もいただき、現場の意見も得ながら事業運営の参考にしている。今後も継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事務事業番号	01000	事業名	子どもプラザ運営事業	事業区分	内部管理
-----	------	--------	-------	-----	------------	------	------

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	青少年室	事務事業番号	01000
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 こどもプラザ運営会議は、「太陽の広場」及び「地域の学校」のこどもプラザ事業の実施について、その評価検証・支援を行ってきた。平成27年度からは、吹田市放課後子ども総合プラン運営会議として、評価検証・支援に加え、地域の実情の中で、開催回数の増加と内容の充実を目指す方策を検討してきた。</p> <p>(3)効率性 太陽の広場事業について、平成25年度から拡充校のみへの非常勤職員であるキャプテンの配置を見直し、ブロックアドバイザーとして順次、全小学校への巡回を行い、拡充校のノウハウを広めるようにした。また、平成29年度は水曜日のみ勤務のブロックアドバイザーを雇用し、水曜日の巡回回数を増やし、週1回以下開催校への支援を強化した。今後も引き続きブロックアドバイザーによる巡回を行い、持続可能な市民主体の協働事業の実現を目指す。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成26年8月「放課後子ども総合プラン」を文部科学省・厚生労働省が発表。平成29年1月23日付けで国が同プランの進捗状況を発表しており、全1,741市町村中、本市のように①同一小学校内で留守家庭児童育成室と太陽の広場を実施している市町村数は356(20.4%)、②そのうち共通プログラムを実施している市町村数は209(12.0%)である。この現状を踏まえて、本市は全国に先駆けて、同プランの目標を満たしているものと分析している。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
14時15分58秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01001	自然体験交流センター管理事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	40	青少年の居場所づくり		
予算事業	10976	01	10	05
所属長	室長 前田 隆男	05	01	01
根拠法令等	吹田市自然体験交流センター条例			
事業開始年度	昭和36年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	使用料改正			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	施設の管理運営		
目標	自然体験活動や生涯学習の場として活動するとともに、交流の場として利用できるようにする。		
結果	市民サービスの向上及び施設整備の充実、施設利用の促進を果たす。		
事業概要	<p>専門業者による施設整備の点検及び管理。 利用者が安心して利用できる施設の整備及び管理。 ○施設の概要 本館棟（宿泊室14室、研修室、会議室、工作室、食堂、浴室）Aサイト（キャビン2棟）Bサイト、Dサイト、わんぱくサイト（常設テント2張り）、野外食堂、多目的ホール、シャワー棟、旧管理事務所棟、プレイグラウンド ○休所日 年未年始 ○利用申請 市内団体の宿泊利用は、利用希望月の4ヶ月前の土曜日から2週間前まで（日帰りは1週間前まで）市外団体の宿泊利用は、利用希望月の3ヶ月前の土曜日から2週間前まで（日帰りは1週間前まで）</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	一般財団法人大阪市青少年活動協会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	指定管理による施設の管理運営
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	83,423	83,420	102,664	99,462	102,051
人件費職員数(人)	0.20	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	1,634	2,370	2,416	2,347	2,384
総事業費(A+B)	85,057	85,790	105,080	101,809	104,435
特定財源(C)	5,269	7,306	6,144	0	6,762
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	5,269	7,306	6,144	0	6,762
市負担(D)	79,788	78,484	98,936	101,809	97,673
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	79,788	78,484	98,936	101,809	97,673
財源計(C+D)	85,057	85,790	105,080	101,809	104,435

所属	青少年室
事務事業番号	01001

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	利用日数	日	目標値	347.00	347.00	347.00
			実績値	306.00	314.00	
			達成度(%)	88.20	90.50	
目標値の積算方法	年間開所日数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	280.36	324.23	
			一般財源(千円)	256.48	324.23	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	利用者数	人	目標値	40,000.00	44,000.00	45,500.00
			実績値	46,602.00	45,075.00	
			達成度(%)	116.50	102.40	
目標値の積算方法	指定管理者の設定した目標値による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.84	2.26	
			一般財源(千円)	1.68	2.26	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 指定管理制度第1期1年目の平成24年度と比較すると、利用者数等大きく伸びており、アンケート等からも利用満足度が高いことが分かることから、事業費は適正であると考え。</p> <p>【指標数値の評価】 平成29年度は835団体、45,075名の方々が利用されているが、度重なる台風の影響もあり利用者数のみ平成28年度を下回った。利用団体数や利用日数は伸びており、市民のニーズは依然として高い。</p> <p>【今後の方向性】 事業費や指標数値の分析を踏まえると、成果指標については目標を達成している。活動指標について目標を下回っているが、平成28年度と比較すると大きく伸びている。今後は、平日も含めた全開所日の利用を達成したい。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	自然体験交流センター管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01001				

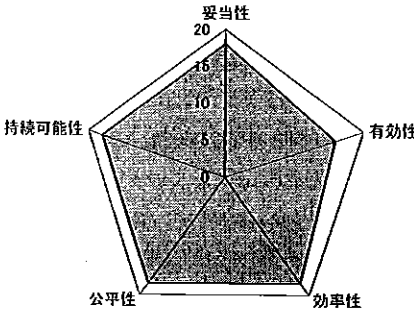
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

指定管理者による施設運営が適切に行われているかを確認するため、毎月1回連携会議を開催している。その中で月次報告書、利用状況、アンケート結果などの報告を求めて意見交換などを行い、より良い運営を目指している。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>(1) 妥当性 指定管理者制度を平成24年度より導入し、利用者数は指定管理者制度導入年度から、大幅に増加している。また、主催事業に関しても35の事業に対し2,714名の参加があったことから、市民のニーズは大きく、本事業の実施意義はあるものとする。</p> <p>(2) 有効性 個別の団体での利用から、主催事業では参加者同士の交流もあることから、自然を生かした生涯学習及び交流の場を提供できていると言える。今後、さらに平日や閑散期にも多くの市民に利用してもらえるよう、検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
10時39分17秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01005	青少年活動サポートプラザ施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	40	青少年の居場所づくり							
予算事業	11009	01	10	05	12	01	01	01	青少年活動サポートプラザ施設管理事業（青少年活動サポートプラ
所属長	杉本 典生				担当者（内線）藤井 勇氣（IP748-1302）				
根拠法令等	吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館条例								
事業開始年度	平成22年度	直近の改正			平成24年度				
改正内容	指定管理者制度導入及び市内青少年使用料無料の規定を設けるための改正								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 ● その他		
対象	吹田市内の青少年		
目標	市内の青少年又は青少年団体が安心して学び、活動し、交流できる環境づくりを推進する。		
結果	市内の青少年の健全育成		
事業概要	青少年又は青少年団体が安心して学び、活動し、交流できる場を提供するとともに、その成長又は発展に応じた支援を目的とする。主として、子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザの施設の貸館業務及び維持管理に係る事業。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	一般財団法人大阪市青少年活動協会・東京海
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	施設の維持管理業務、貸館業務
交付先①			
交付先②			
□ その他	交付先③		
		内容	

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	72,798	69,532	72,142	71,220	72,695
人件費職員数(人)	0.50	0.50	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	76,883	73,482	80,194	79,272	80,640
特定財源(C)	5,745	6,100	5,919	5,986	6,103
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	5,745	6,100	5,919	5,986	6,103
市負担(D)	71,138	67,382	74,275	73,286	74,537
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	71,138	67,382	74,275	73,286	74,537
財源計(C+D)	76,883	73,482	80,194	79,272	80,640

所属	青少年室
事務事業番号	01005

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	施設運営における連携会議の開催回数	回	目標値	12.00	12.00	24.00
			実績値	12.00	23.00	
			達成度(%)	100.00	191.70	
目標値の積算方法	月2回(施設長会議1回、担当者会議1回)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6,123.50	3,446.61	
			一般財源(千円)	5,615.17	3,186.35	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	夢つながり未来館運営協議会開催回数	回	目標値	4.00	4.00	3.00
			実績値	4.00	4.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年3回(平成30年度より定例会の開催回数を年4回から年3回とした)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	18,370.50	19,818.00	
			一般財源(千円)	16,845.50	18,321.50	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	青少年活動サポートプラザ使用料収入金額	千円	目標値	5,668.00	5,853.00	6,042.00
			実績値	6,038.00	5,941.00	
			達成度(%)	106.50	101.50	
目標値の積算方法	各年度における青少年活動サポートプラザ使用料の予算額	単位当たりコスト	総事業費(千円)	12.17	13.34	
			一般財源(千円)	11.16	12.34	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	青少年活動サポートプラザ利用者数	人	目標値	175,000.00	175,000.00	175,000.00
			実績値	169,607.00	179,593.00	
			達成度(%)	96.90	102.60	
目標値の積算方法	市内の30歳未満の青少年人口(平成26年3月末現在)と平成25年度における30歳以上の利用者数実績の合計値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.43	0.44	
			一般財源(千円)	0.40	0.41	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 平成26年4月から指定管理者制度を導入し、同年10月にはインターネットによる施設の予約申し込みシステムを構築するなど、民間事業者のノウハウを活用した効率的な施設運営を行っていることから、事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 施設予約システムが定着したこと、利用者からの相談に積極的に対応していることから、利用件数及び利用者数ともに年々増加している。事業成果は概ね妥当だが、利用者のニーズに合わせて改善していく必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 利用者のニーズを把握するため、今後も利用者懇談会の開催や利用者アンケートを実施し、さらなる利便性の向上と事業の効率化を図りながら事業運営を継続していく必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01005				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	88	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 平成26年4月からの指定管理者制度の導入をし、同10月にはインターネットによる施設の予約申し込みシステムを構築するなど、民間事業者のノウハウを活用した効率的な施設運営を行っています。</p> <p>(3)効率性 インターネットによる施設予約システムが定着したこと、窓口での利用者の相談に積極的に行っていることにより、利用件数、利用者数ともに年々増加しています。今後もアンケートによる利用者ニーズの把握や、利用者懇親会での利用者との対話を通じて、さらなる利便性の向上と事業の効率化を図りながら、事業を継続していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
10時54分04秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01006	青少年活動サポートプラザ施設運営事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	40	青少年の居場所づくり							
予算事業	11010	01	10	05	12	02	01	01	青少年活動サポートプラザ施設運営事業（青少年活動サポートプラ
所属長	杉本 典生				担当者（内線）藤井 勇氣（1P748-1302）				
根拠法令等	吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館条例								
事業開始年度	平成22年度	直近の改正		なし					
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市内の青少年		
目標	市内の青少年又は青少年団体が安心して学び、活動し、交流できる場を提供するとともに青少年の居場所を基軸として、青少年の成長又は発達に応じた支援を行う。		
結果	市内の青少年の健全育成		
事業概要	青少年又は青少年団体が安心して学び、活動し、交流できる場を提供するとともに、青少年の居場所づくりを基軸として、青少年が他者との関わりや様々な経験を通し、青少年自身が成長できるよう、その支援を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	NPO法人すいた市民活動を活発にする会
		委託先②	一般財団法人大阪市青少年活動協会
		委託先③	
	主な委託内容		青少年交流活動支援業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	24,726	20,582	21,915	18,273	22,613
人件費職員数(人)	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	20,425	19,750	20,130	20,130	19,863
総事業費(A+B)	45,151	40,332	42,045	38,403	42,476
特定財源(C)	55	39	36	16	29
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	55	39	36	16	29
市負担(D)	45,096	40,293	42,009	38,387	42,447
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	45,096	40,293	42,009	38,387	42,447
財源計(G+D)	45,151	40,332	42,045	38,403	42,476

所属	青少年室
事務事業番号	01006

2頁
平成30年 6月 8日
10時54分04秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	青少年活動サポートプラザ青少年委員会の開催回数	回	目標値	6.00	6.00	6.00
			実績値	11.00	13.00	
			達成度(%)	183.30	216.70	
目標値の積算方法	2か月に1回開催する。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3,666.55	2,954.08	
			一般財源(千円)	3,663.00	2,952.85	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	青少年活動サポートプラザ主催事業開催回数	回	目標値	24.00	24.00	24.00
			実績値	30.00	25.00	
			達成度(%)	125.00	104.20	
目標値の積算方法	1か月に2回開催する。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,344.40	1,536.12	
			一般財源(千円)	1,343.10	1,535.48	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	青少年活動サポートプラザにおける市内の30歳未満の青少年の利用者数	人	目標値	107,268.00	107,268.00	107,268.00
			実績値	96,319.00	96,380.00	
			達成度(%)	89.80	89.80	
目標値の積算方法	市内における30歳未満の青少年人口(平成26年3月末日現在)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.42	0.40	
			一般財源(千円)	0.42	0.40	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	青少年活動サポートプラザ主催事業参加者数	人	目標値	3,095.00	3,125.00	3,156.00
			実績値	3,728.00	4,463.00	
			達成度(%)	120.50	142.80	
目標値の積算方法	平成24年度実績ベース(2,976人)で年1%ずつの増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	10.82	8.60	
			一般財源(千円)	10.81	8.60	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の評価】 青少年に安心して過ごすことのできる居場所を提供し、青少年が様々な活動を通じて情報を得、他者と交流することにより、自主性や協調性を育み、成長できるよう支援を行っており、事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 青少年を取り巻く社会の変化とともに、青少年のニーズは多様化、複雑化しているため、利用者数等客観的な指標だけで評価することは困難だが、主催事業への参加者数は前年度に比べ増加している。事業成果は概ね妥当だが、青少年を取り巻く社会的な背景を十分理解し、青少年のニーズを把握しながら改善していく必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 平成30年度はロビーワーカーを各日2名の配置に増員し、交流ロビーを利用する青少年への支援と見守りを充実させる。青少年に寄り添いながら成長を支援できるよう、引き続き事業運営を継続していく必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ施設運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	01006				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	94	一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 家庭でも学校でもないありのままの自分を表現できる空間の必要性から設置された施設であるが、小・中・高校生から大学生、社会人まで、日々異年齢の交流があり、その成長に応じた支援が行われている。都市化、核家族化など青少年を取り巻く環境がますます変化する中で、本事業の意義は高まっている。</p> <p>(2)有効性 学習室、音楽スタジオ、交流スペース等を利用する青少年がつながり、そこから生まれた仲間(サークル)や青少年委員会を中心とする自主的な活動を支援してきた。開館以来、事業参加者数は年々増加しており有効性のある事業であると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時20分12秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01007	青少年活動サポートプラザ青少年相談事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	60	青少年を育てる家庭・地域づくり		
予算事業	11011	01	10	05 12 03 01 01
所屬長	杉本 典生		青少年活動サポートプラザ青少年相談事業（青少年活動サポートプ	
根拠法令等	吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館条例、子ども・若者育成支援推進法			
事業開始年度	平成22年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市内の概ね40歳未満の青少年とその保護者		
目標	様々な悩みを抱え、社会とのつながりが希薄になっている青少年の社会参画を促すとともに、就学前児童を持つ親の心のケアを行う		
結果	青少年の健全育成		
事業概要	臨床心理士などの資格を有した専門相談員がひきこもりやニート、不登校など社会参画において様々な課題を抱え、社会とのつながりが希薄になっている青少年やその家族に対し、相談事業をはじめ、各種支援事業を行う。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	34,453	32,437	38,025	35,710	38,146
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.50	2.50	2.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	20,130	20,130	19,863
総事業費(A+B)	50,793	48,237	58,155	55,840	58,009
特定財源(C)	139	5,107	126	4,755	95
国	0	0	0	0	0
府	0	5,000	0	4,667	0
その他	139	107	126	88	95
市負担(D)	50,654	43,130	58,029	51,085	57,914
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	50,654	43,130	58,029	51,085	57,914
財源計(C+D)	50,793	48,237	58,155	55,840	58,009

所属	青少年室
事務事業番号	01007

2頁
平成30年 6月 8日
11時20分12秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	吹田市子ども・若者支援地域協議会の開催回数(旧社会的ひきこもり吹田市ネットワーク会議)	回	目標値	2.00	2.00	3.00
			実績値	4.00	3.00	
			達成度(%)	200.00	150.00	
目標値の積算方法	年3回開催(代表者会議1回、実務者会議2回)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	12,059.25	18,613.33	
			一般財源(千円)	10,782.50	17,028.33	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	青少年相談事業における支援方針会議	回	目標値	52.00	52.00	52.00
			実績値	50.00	50.00	
			達成度(%)	96.20	96.20	
目標値の積算方法	週1回定期的に開催。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	964.74	1,116.80	
			一般財源(千円)	862.60	1,021.70	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	新規相談ケース数	ケース	目標値	200.00	200.00	200.00
			実績値	127.00	167.00	
			達成度(%)	63.50	83.50	
目標値の積算方法	教育ビジョン平成31年度の目標値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	379.82	334.37	
			一般財源(千円)	339.61	305.90	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 相談者がおかれている状況は様々で、さらに相談の内容も多種多様で多岐にわたっており、単純に件数などの数値による評価は困難である。	達成状況 ケース数 264ケース (うち新規ケース数 167ケース)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 本事業は面接相談・電話相談・訪問相談の実施、フリールールの提供、家族会、グループワークや各種講座の開催など、相談者の実態やニーズに合わせ、様々な方法で相談者の支援を行っており、事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 相談者の状況、相談内容は多種多様であることから、客観的な指標だけで評価することは困難だが、吹田市子ども・若者支援地域協議会を設置し、総合相談センターとして青少年の課題に幅広く対応していることから、新規相談ケースは増加している。事業成果は概ね妥当だが、青少年のニーズに合わせて改善していく必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 課題を抱えた青少年がどのようにして社会に参画していくのか、総合的な支援策を見出すため、関係機関との連携をより一層強化し、個々に応じた適切な支援ができるよう引き続き事業運営を継続していく必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ青少年相談事業	事業区分	その他
事務事業番号	01007				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(6点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	6点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 平成29年3月に吹田市子ども・若者支援地域協議会を設置し、個々に応じた適切な支援を行う上で、総合相談窓口として関係機関との連携を図る必要があることから、市が関与すべき事業であると考え。</p> <p>(2)有効性 青少年を取り巻く社会環境は日々変化しており、そのニーズは多様化、複雑化している。ひきこもり・ニート・不登校など、本事業における相談内容も多種多様で、相談者がおかれている状況も様々であることから、件数など客観的な指標だけで事業を評価することは困難であるが、新規相談ケース数は増加していることから、市民ニーズが高く、本事業の実施意義はあるといえる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成29年3月に子ども・若者育成支援推進法に基づき、全国で102番目に吹田市子ども・若者支援地域協議会を設置。(大阪府下では、大阪府、堺市、茨木市、豊中市、枚方市が設置済み。)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
13時15分18秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040000	青少年室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01377	地域教育コミュニティ事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	60	青少年を育てる家庭・地域づくり		
予算事業				
所属長	室長 前田 隆男		担当者（内線）澤田 美純（748-1353）	
根拠法令等	地域教育コミュニティ実施要領			
事業開始年度	平成12年度	直近の改正	平成25年度	
改正内容	事業費の使途基準の見直し			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	就学前児童・小学生・中学生		
目標	家庭・学校・地域が協働して、子供たちの健全育成に取組むため、地域教育協議会を中心に地域における教育ネットワークづくりを促進する。		
結果	地域が一体となって子供の成長を見守り、育てることで地域の一員としての自覚を促す。		
事業概要	学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割と責任を果たし、協働して継続的に子供に関わる教育コミュニティの形成を目指し、各中学校区に地域教育協議会を設置し、地域での様々な活動ネットワークを図るための事業を委託している。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	市内の各地域教育協議会
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	地域教育活動事業、学校教育活動事業
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	9,000	8,738	9,000	8,830	9,000
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	9,000	8,738	9,000	8,830	9,000
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	9,000	8,738	9,000	8,830	9,000
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,000	8,738	9,000	8,830	9,000
財源計(C+D)	9,000	8,738	9,000	8,830	9,000

所属	青少年室
事務事業番号	01377

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域コミュニティ形成のための諸活動を行なう地域教育協議会が全中学校区に設置されること	校区	目標値	18.00	18.00	0.00
			実績値	18.00	18.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	市内の中学校区の地域教育協議会	単位当たりコスト	総事業費(千円)	485.44	490.56	
			一般財源(千円)	485.44	490.56	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域コミュニティ形成のための事業回数 (18中学校区×8事業)	回	目標値	144.00	144.00	144.00
			実績値	145.00	150.00	
			達成度(%)	100.70	104.20	
目標値の積算方法	市内の中学校区の地域教育協議会	単位当たりコスト	総事業費(千円)	60.26	58.87	
			一般財源(千円)	60.26	58.87	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は適切である。平成12年度より事業費の増減は無いが、委託料の中で地域の実情に合わせて様々な事業を子供たちのために実施している。</p> <p>【指標数値の評価】現在はずべての中学校区で地域教育協議会が設立され、教育コミュニティづくりを目指して展開がされているところである。また、各協議会では地域の特色を生かして取り組みが実施されており、費用対効果の面では適正と考えている。</p> <p>【今後の方向性】地域社会の連帯意識が希薄化する中、学校・家庭・地域社会が有する課題や情報を提供し合い、それぞれの教育力の向上を図りながら協働して子育てを展開し、地域社会全体で子供たちを守り育てる環境の充実が図られている。今後も継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

2018/6/814.04

所属名	青少年室	事業名	地域教育コミュニティ事業	事業区分	その他
事務事業番号	01377				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(2)有効性 各地域の実情に合わせて中学校区での取り組みをしている。事業数や参加人数は増加傾向にあり各地域での取組みは子供たちにとって有効であり、実施意義はあるものとする。</p> <p>(4)公平性 H25年度より委託料ガイドラインの見直しをし、委託料をより有効活用してもらうように努めている。ガイドライン見直しに伴い、地域教育協議会の会計担当者に対して説明会を開催している。</p> <p>学校・家庭・地域が協働して子供たちの豊かな成長を育むため、地域活動を活性化し委託料を地域教育コミュニティづくりを進めるという趣旨で、各地域で活動を継続してもらっており、引き続き“顔と名前的一致する人間関係づくり”が進むよう事業を継続していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)